

## 教育研究寄付金

公益社団法人電気化学会主催「加藤与五郎先生記念講演会」の後援

年度	講演者	所属	講演テーマ	支給金額 (万円)
昭和56年	向坊 隆 氏	元東京大学総長	電気化学とエネルギー問題の将来	30
昭和57年	山崎 貞一 氏	TDK株式会社 相談役	発明と企業	30
昭和58年	清山 哲郎 氏	九州大学 教授	電気化学・工業物理化学と私	30
昭和59年	外島 忍 氏	東北大学教授	理論電気化学の歩みを振り返って	30
昭和60年	吉澤 四郎 氏	京都大学 名誉教授	電気化学のいまとこれから	30
昭和61年	久松 敬弘 氏	日新製鋼株式会社 顧問	表面処理鋼板の趨勢	30
昭和62年	石川 敏功 氏	日本カーボン株式会社 社長	有機素材から無機素材へ	30
昭和63年	渡辺 信淳 氏	前 京都大学 名誉教授	挑戦と偶然と楽しさ	30
平成元年	塩川 二郎 氏	近畿大学 教授	希土類元素に魅せられて40年	30
平成2年	笛木 和雄 氏	東京理科大学理工学部	化学の立場からみた高温超伝導体	30
平成3年	本多 健一 氏	東京工芸大学	光と電気の関わり—光電気化学	30
平成4年	松田 博明 氏	東京工業大学 名誉教授	電気化学測定について	30
平成5年	鈴木 周一 氏	埼玉工業大学 学長	生物電気化学の展開	30
平成6年	春山 志郎 氏	東京工業高等専門学校 校長	電極の化学の歩み	30
平成7年	増子 昇 氏	東京大学 教授	メートル電気化学とマイクロ電気化学	30
平成8年	竹原 善一郎 氏	京都大学 名誉教授	電池の研究とともに40年	30
平成9年	安福 眞民 氏	富士通株式会社	Country Gentleman, Paranoid and Spontaneity	30
平成10年	大瀧 仁志 氏	立命館大学 教授	電解質溶液化学の進歩—特にイオンの溶媒和について	30
平成11年	高村 勉 氏	立教大学 教授	新世紀の電池と炭素材料	30

平成12年	長 哲郎 氏	東北大学 教授	化学修飾電極の歩みとともに	30
平成13年	富浦 梓 氏	新日本製鐵株式会社	産学連携について	30
平成14年	山内 繁 氏	国立身体障がい者リハビリテーションセンター研究所 所長	少子高齢化時代に期待される電気化学	30
平成15年	西 美緒 氏	ソニー株式会社	ユビキタス時代を支える電池	30
平成16年	山添 昇 氏	九州大学 教授	化学センサの発展に向けて	30
平成17年	藤嶋 昭 氏	東京大学 名誉教授	人傑地靈—研究は雰囲気的大事	30
平成18年	伊藤 靖彦 氏	同志社大学 教授	熔融塩技術の潮流とロマン	30
平成19年	相澤 益男 氏	東京工業大学 前学長	日本の科学技術政策を展望する	30
平成20年	小久見 善八 氏	京都大学 教授	先進のOld Tech:蓄電池	30
平成21年	佐藤 祐一 氏	神奈川大学 教授	腐食防食技術と電池技術	30
平成22年	逢坂 哲彌 氏	早稲田大学理工学術院 教授	学から産への技術発信	30
平成23年	渡辺 政廣 氏	山梨大学燃料電池ナノ材料研究センター 教授	燃料電池の本格普及に向けて—材料研究—開発からのアプローチ	30
平成24年	淵上 寿雄 氏	東京工業大学 名誉教授	古くて新しい有機電気化学—電解合成を基軸として	30
平成25年	武田 保雄 氏	三重大学 教授	新物質を求めて—電気化学とセラミック科学との間で	30
平成26年	太田 健一郎 氏	横浜国立大学大学院 教授	水素エネルギー時代に向けた電気化学	30
平成27年	松永 是 氏	東京農工大学 学長	細胞の電気化学	30
平成28年	谷口 功 氏	国立高等専門学校機構 理事長	生体分子の生物電気化学的解析のための機能電極の開発とその応用	30
平成29年	益田 秀樹 氏	首都大学東京 教授	アノード酸化でつくる規則ナノ構造	30
平成30年	菅野 了次 氏	東京工業大学 教授	全固体電池の開発とその周辺のサイエンス	30
令和2年	西原 寛 氏	東京大学大学院 教授	電気化学と錯体化学の交差点で育んだ配位プログラミングの化学	30
令和3年	辰巳砂 昌弘 氏	大阪府立大学 学長	ガラス・イオニクス・そして全固体電池	30
令和4年	渡邊 正義 氏	横浜国立大学 特任教授	高分子・イオン液体・イオンゲル:電解質研究と電気化学	30
令和5年	内田 裕之 氏	山梨大学 特任教授	燃料電池用電極触媒:高性能化への道	30